



平成 27 年 4 月 24 日

各 位

本社所在地 東京都港区赤坂八丁目 4 番 14 号  
 会 社 名 ブロードメディア株式会社  
 (コード番号: 4347)  
 代 表 者 代表取締役社長 橋 本 太 郎  
 問 合 せ 先 取 締 役 植 村 保 彦  
 管 理 本 部 長  
 電 話 番 号 03-6439-3983

### 業績予想の修正及び 特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 1 月 30 日に公表した平成 27 年 3 月期通期の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、平成 27 年 3 月期通期において、特別損失として貸倒引当金繰入額の計上を行うこととなりましたので、併せてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 27 年 3 月期通期 連結業績予想数値の修正

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	12,000	△1,120	—	—	—
今回修正予想(B)	11,918	△1,147	△2,358	△2,580	△39.20
増減額 (B-A)	△82	△27	—	—	—
増減率 (%)	△0.7%	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	12,301	△618	△1,134	△777	△11.93

#### 2. 修正の理由

<売上高>及び<営業損益>

セグメント毎ではばらつきがあるものの、概ね前回予想と同水準となる見込みです。

<経常損益>

これまでは予想を控えてまいりましたが、営業損失に加え、営業外費用として持分法適用関連会社の純損失の当社持分等を投資損失として計上いたしました。また、第 3 四半期に当社の持分法適用関連会社である G クラスタ・グローバル株式会社 (以下、GCG 社) の株式に係る「のれん」の全額にあたる 609 百万円について減損処理を行っております。

その結果、2,358百万円の経常損失となる見込みとなりました。

<当期純損益>

CDN事業の一部を営業譲渡したことや当社の連結子会社である株式会社釣りビジョン株式を一部譲渡することに伴う投資有価証券売却益を特別利益として計上いたしました。一方で、GCG社への貸付金462百万円、及び返済の遅延等が生じていた当社の取引先への貸付金154百万円について、短期的な回収は困難であると判断したため、貸倒引当金繰入額として特別損失に計上いたしました。

その結果、2,580百万円の当期純損失となる見込みとなりました。

【参考】

通期連結業績予想のセグメント別内訳は以下の通りです。

	売上高			営業利益		
	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B)－(A)	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B)－(A)
合計	12,000	11,918	△82	△1,120	△1,147	△27
コンテンツ	2,200	2,034	△166	△1,090	△1,072	18
放送	4,500	4,793	293	330	330	—
スタジオ	2,700	2,547	△153	△195	△253	△58
技術	1,400	1,402	2	30	45	15
ネットワーク営業	1,200	1,140	△60	△195	△197	△2

※ 上記の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。

3. 貸倒引当金繰入額の計上について

当社は、平成27年3月期第3四半期連結累計期間において、持分法適用関連会社であるGCG社への貸付金311百万円について、短期的な回収は困難であると判断したため、貸倒引当金繰入額として特別損失に計上いたしました。GCG社の経営改善は、コストの削減等により進捗しておりますが、依然として厳しい状況にあります。当社は、重要な事業パートナーであるGCG社を引き続き支援するため、当第4四半期連結会計期間において、追加の貸付を実施し、貸倒引当金繰入額として151百万円を追加計上いたしました。

以上